

令和5年第1回北海道議会定例会 予算特別委員会（経済部審査） 開催状況  
 （経済部産業振興局産業振興課、環境・エネルギー局環境・エネルギー課）

開催年月日 令和5年3月3日（金）  
 質問者 民主党・道民連合 広田まゆみ 委員  
 答弁者 経済部長、産業振興局長、産業振興課長  
 苫東・石狩担当課長

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p><b>二 次世代半導体の工場建設・洋上風力発電などの経済波及効果などについて</b></p> <p>（一）次世代半導体工場建設に係る経済波及効果について                  （広田委員）                  次に次世代半導体の工場増設、洋上風力発電などの経済波及効果などについて伺って行きたいと思えます。国家プロジェクトでもあり、重要な取組であることは承知をしています。端的に伺いますが、本道への経済波及効果をどのように予想しているのか、その算出根拠は何によるものか伺います。</p> <p>（二）洋上風力発電における経済波及効果について                  （広田委員）                  では、次に洋上風力発電の道内への経済波及効果をどのように試算、分析しているのか伺います。</p> <p>（広田委員）                  域内経済循環分析などについても、色々、常任委員会でもご議論させていただいたところであります。観光にしてもものづくり産業にしてもですね、経済波及効果、地域に向けてどうなっているかっていうのをしっかり検証していただきたいと思えます。洋上風力発電にしても、これも常任委員会でご議論させていただきましたが、例えば秋田県では、現実に県立高校で電気工事士のその資格を取れるように応援しています。具体的にやっていますか。道、そういうこと。計画になんか美しい文字を書くだけじゃなくて、具体の現実を動かしていただきたいなあという風に思います。ま</p>	<p>（産業振興局長）                  経済波及効果についてでございますが、ラピダス社の次世代半導体の製造拠点整備につきましては、現時点では、具体的な計画、進め方について、明らかにされておりませんが、大規模な工場整備が見込まれており、例えば、建設工事はもとより、建設機械、資材等の調達、宿泊、食事といった工事現場管理業務など、地元企業の活用が想定されますほか、半導体の製造装置や素材といった関連産業の進出、さらには地元理系人材をはじめとする雇用の創出など、幅広い効果が期待できるところでございます。</p> <p>（環境・エネルギー局長）                  洋上風力発電に係る地域への効果についてでございますが、洋上風力発電に関係する産業は大きく分類しますと、調査開発、風車製造、基礎製造、電気系統、設置、運用維持管理、撤去で構成されまして、これらに関し、道内への経済波及効果を試算しているものがございますが、幅広い分野に大きな影響が及ぶものと認識をしております。このうち風車製造は現時点では輸入が中心で、参入ハードルが高いものの、それ以外の分野では、専門技術や設備をもつ国内企業の受注の可能世が高く、道内への関連企業の新規立地や、道内企業の参入も期待できるところでございます。また、設置工事に関係する船や建設機械、燃料、資材等の調達、宿泊、食事、清掃といった工事現場監理の業務などで地元企業の活用が想定されるところであります。道としては洋上風力発電の開発、導入が地域経済の活性化や雇用の創出に結びつくよう取り組んでまいります。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>業構造の課題であるということで、一所懸命、工場誘致だとかしてきたんですけども本当にこれからの50年、100年の時に北海道が稼げるものってどうでしょうか。私はそういう意味でさっきのガイド業も含めて、産業振興のあり方自体を根本から考えていただきたいという風に考えています。今回は指摘とさせていただきますが、またご議論させていただきたいと思っております。</p>	